

函館白百合学園中学高等学校福祉局主催

学園祭バザーにご協力下さい！！

→学園祭バザーとは？

毎年、福祉局が全校生徒・保護者の皆様からタオルなどの品物を集め、バザーで販売し、その収益金を必要としている団体におくる取り組みです。

→持ってきた品物は？

クラスの黒板に貼ってある名票に印をつけ社会活動委員へ渡して下さい。各クラスの社会活動委員は集まった品物を福祉局室前の段ボールへ入れます。

→締め切り

6月30日（木）まで

（今年の学園祭は7月23日・24日）

* 1人1品以上の協力をお願いいたします。

→品物例

（新品）・・・石けん・洗剤・タオル・食器・文房具・ぬいぐるみ
食品（缶詰・乾麺・珈琲・紅茶・・・）など

（中古品）・・・本・CDなど

（目安としてブックオフで買い取って頂けそうなもの）

→収益金の送り先

①函館YWCA（東日本被災者支援事業）〔北の大地プロジェクト〕

②八代白百合学園〔熊本地震被災生徒支援〕

4月末の全校募金に引き続き、姉妹校である八代白百合学園被災生徒の支援を学園祭でも行いたいと考えています。

この収益金は被災生徒の学費の免除や寮費などとして役立てられる予定です。

→YWCAとは？

キリスト教を基盤に、世界中の女性が、言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む

120あまりの国と地域で、約2500万人の女性たちが活動しています。日本YWCAは、1905年に創立され、現在全国26地域、道内では函館・札幌・釧路にYWCAがあり、独自の活動を展開しています。

→函館YWCAとは？

1949年に誕生しました。平和・環境・人権をテーマにした公益活動を中心に、子どもから大人まで幅広い世代を対象にした生涯学習活動、文化・教養・趣味を楽しむグループ活動、フェアトレードやエコな商品を扱う憩いの場としてのフキカフェなど、地域に根ざした活動をしています。

→「北の大地プロジェクト」とは？

2011年3月11日の東日本大震災によっておきた、福島第一原子力発電所の事故の為、放射能の不安を感じている親子の心と体の保養を目的とする取り組みです。

→「北の大地プロジェクト」実施状況

- ①2012年1月5日～8日（親子13組31名）
- ②2012年7月26日～29日（親子10組27名）
- ③2013年8月16日～19日（親子12組30名）
- ④2014年7月25日～28日（親子10組30名）
- ⑤2015年7月24日～27日（親子10組30名）

→2016年7月29日～8月1日（親子8組24名）予定

対象：福島県内・福島市およびその近郊で放射線量の高い地域に居住する小学生とその保護者

日程：7月29日（金）函館着→きじひき高原→マギーさんのマジック
7月30日（土）磯遊び→函館公園遊園地→お楽しみ会
7月31日（日）ローラファーム→函館牛乳→函館山夜景
8月1日（月）自由行動→函館駅から帰途へ

→参加者（保護者）の声より

スタッフの皆さんの温かさをずっと感じ続けた4日間でした。函館の町の良さはもちろんですが、不安や緊張から解放されたひとときを過ごせたこと、普通の生活を思い出させてくれたことに感謝したいと思います。私達にとって「普通の生活」こそ「非日常」なのです。私たちを見捨てない人達がいることを感じ、あきらめずに子ども達を守り続けるパワーを得ることができました。ありがとうございました。